

## ☆表彰式の部

第 60 回全国学校保健研究大会では京都府管内において学校保健の部で文部科学大臣表彰を藤木祥治先生が受賞されました。第 60 回全国学校薬剤師大会では、日本学校薬剤師会表彰を守谷まさ子先生が受賞されました。

どちらの賞も長年にわたり学校保健の普及と向上に尽力され、顕著な功績を上げられた評価であり深く敬意を示すとともに、心よりお祝い申し上げます。

## ☆記念講演会の部

子供たちの学習意欲というテーマで、前群馬県立女子大学学長 富岡賢治先生の講演が特に興味深いので簡単に紹介しておきます。

一、学力低下は騒ぐほど酷くない

二、子供のやる気は、ほめることから始まる

三、どのようなことでも良いからその子の長所を探してほめてあげること

これは大人の世界でも共通することのように感じました。

## 第 8 課題(学校環境衛生)

### 神奈川県川崎市宮前平中学校 校長 香山哲哉先生の発表

学校保健計画に関して、教職員すべてが理解している。健康教育指導グループが中心に運営されている。施設管理は、管理グループが担っていて、上記グループと連携している。学校保健委員会は、7 月と 3 月に定期的に行っている。

学校薬剤師の活動だけでなく、教職員がチェック表に基づき学校環境衛生活動も行って管理職に報告するシステムになっている。

生徒にも自分の飲む水や環境についての意識付けのため、進んで実施している。学校、専門職との連携により学校環境衛生活動の成果について発表があった。

### 群馬県大泉町立北小学校 養護教諭 北村雅子先生

学校環境衛生基準の完全実施のため、日常点検表を整備して各教室担任にて毎日記帳して学校長の押印をもらう。

受水槽の清掃時は、必ず学校薬剤師が立会い、専門的な意見や確認を行う。

生徒自ら照度検査等行い、照明の調節からカーテンの開閉まで自覚を持って行動できるようになった。保健委員が中心になって、教室の空気環境や家庭の照度について測定してほけん便りに紹介した。

### 奈良県立添上高等学校養護教諭 松本秀美先生

本校は生徒が掃除をよくしているので、その理由を探ることにしました。

環境安全部が設置され、生徒も職員も一体になって構内美化に勤めています。

学校薬剤師との連携では、検査結果に基づき事務長が施設修繕をおこなう、プールは温水屋内プールのため、年四回検査する。今のところ結果は良好であるとの報告があった。地域での奉仕の心が根付いて自然な気持ちで実施する風土があるということでした。

### 摂南大学理工学部生命科学科 教授 中室克彦先生

「日焼け止め剤のプール水質に及ぼす影響に関する調査研究」

①濁度、色度に与える影響出てくる傾向にある。②PHには影響なし。③過マンガン酸カリウム消費量も増えるが、基準を越すことはない。しかし数値は上昇する。④残留塩素濃度は、メーカーによって変動があるが遊離残留塩素量は減る傾向にある。⑤トリハロメタン生成を引きこす製品もある。⑥細胞毒性は示さないだろうと推測 ⑦肥満細胞ヒスタミン遊離試験(アレルギー検査も影響ないものが多いが、一部製品には認められる)⑧マウスにOXA塗布すれば、炎症反応が認められる。⑨免疫毒性について、リンパ球増殖促進作用は認められなかった。

### フローアからの質問

質問 実際問題として、使ってよいかどうかの質問に関して

回答 現実運用しているプールで実験していないので一概には言えない。

質問 消毒剤による違いはあるか

回答 分からない。

講演終了後、個別に演者に聞いてみましたが、現実に運用されているプール水の状態は様々なので、個別対応になるのが現実のようです。ちなみに京都市立学校では、日焼け止めクリームを使用しないことになっています。

文責 守谷まさ子